



俳句

(2025)



目次

歳時記俳句	モーロク俳句	たべもの俳句
1	5	10
ゝ	ゝ	ゝ

9月 は和風月名で「長月（ながつき）」と呼ばれます。9月23日頃の秋分を過ぎ、夜が長くなることを意味する「夜長月（よながつき）」が略されて「長月」になったという説が有力です。また、「稲刈月（いねかりつき）」が「ねかりつき→ながつき」に変化したとする説や、「長雨（ながあめ）」からつけられたとする説も知られています。

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巢鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

九月来る切り子細工の硝子器に
えのころ草猫も卵もコロコロン

カンナ咲く赤か黄色か迷いつつ
野分けあと難聴解消奇跡あり

鶏頭のこれが正論その中身

三日月は薄く輝き夜に消え
佇みる月に寄り添い金星や
三日月が染井霊園さまよいて

芋名月老舗を訪ね和菓子買う
芋名月月見バーガー激戦区

満月や何か足りない高齢者
満月や今が大切今が好き
満月や既に吾また古代人



満月を眺めて薬飲んでおり
満月や探査も空し裏の顔
満月の金箔降れる我が庭に
満月に上がりてさがる観覧車

菊芋は向日葵ごとく空に向く
幸あれどされどはかなき芋の露

その棘で何を守るか鬼薊
格差などそれがどうした草の花
マスコミは家族を否定草の花
兄弟は似たもの同士草の花

自然界孤立など無し葡萄かな
夜に浮くキバナコスモスあの世道
名月に「うさぎもなか」の長い耳



阿修羅像今日はやさしく今日の月
泥酔しかすかに遠く今日の月
今日の月銀座セクハラ芸のうち
地蔵にもそして我らに今日の月
けふの月誰もを許し平和かな
下津井の干蛸透ける今日の月
ぶつぶつとつぶぶやく口に今日の月

寝過ごしてここは終点無月かな

月の夜も何を待つのか深海魚
月を見て後は安心眠るだけ
月光にキラキラ光るつけまつげ
少しだけ天文学を今日の月
断捨離し何もなき部屋今日の月
月夜にはキョンも繁殖五万匹
新月や無言で過ぎす一夜かな
月を見てバンクシーは何を描く



待ちし月ただそれだけの月であり
秋の月誘惑されて浮気する
名月やドラム洗濯廻りけり
尊厳死考える歳に居待月
満ち欠ける月は永遠希望かな
東京に月光の坂あまたあり
月の出てひとり者にもそれぞれに
風に揺る吾亦紅かな連写する
本を捨て終活終わる昼の虫
曼珠沙華咲くや秘密がまた漏れる
曼珠沙華酒饅頭で酔いにけり
いつまでも平和はないと地虫鳴く
地球にはいまだ争い地虫鳴く
細やかに千切れ千切れて秋の雲



鰯雲三角関数認知症
東京に憧れたころ鰯雲
鰯雲絶望的に広がりぬ

水清くさわさわさわと秋の川
スマートフォン見ればラインか秋の昼

秋の蝶追いつ追われつ迷い道
観音は誰に微笑む秋気澄む
ニュータウンとくに挨拶秋の人
なぜ食べる食べて生きるか秋半ば



モーロク俳句

九月来モーロクすれど箸使う
九月来モーロクすればスプーンかな
藤袴薄化粧ほどこしモーロクす

カンナ咲く海に蓋してモーロクす
ホイホイとモーロク進む猫じやらし

枝豆の柔らか産毛モーロクす
枝豆で古里自慢モーロクす
月見豆ぽつりぽつりとモーロクす

長き長き長き残暑にモーロクす
モーロクし面子をかけて鰯焼く

鰯雲モーロク孤独腰のぼす



鰯雲モーロク進みよるめけり
鰯雲おまけに生きてモーロクす

鶏頭は憤怒の王かモーロクす
鶏頭の赤にモーロク進みけり

モーロクしされど秋茄子ぬか漬けを
モーロクし傷つき易し秋なすや

モーロクし八朔梅に嫉妬する
霧湧きて浄土を想うモーロクし
霧の中モーロクしつつ消え惑ふ

モーロクし吾も補聴器小鳥来る
小鳥来るニュータウンもモーロクす

南蛮煙管一触即発モーロクす
モーロクし南蛮煙管うとましく



モーロクしうかばれぬまま思草
モーロクし死にそこなひの思草

モーロクしのろのろと過ぎ敬老日

十五夜にモーロクすれど爪を切る
満月のサハラ砂漠でモーロクす

モーロクしできぬこと増え夕あきつ
赤とんぼモーロク孤独理解して

モーロクしよい智恵の出ぬよい月夜
月光やモーロクすれど大吟醸
モーロクし薬飲み込む星月夜

モーロクし恨み忘るる鳥渡る
柿食つてモーロクすれば生きる意味
モーロクし心まだらに時鳥草



モーロクし消えゆく定め芋の露

モーロクし我が人生の草風
秋霖の輪郭不明モーロクす

秋風が乗れと云う吾モーロクす
秋の空仰臥瞑目モーロクす
モーロクし記憶は流れ秋の空
秋の空見すぎて迷うモーロクす
秋の空男は誰もモーロクす

モーロクしわがまま言わず栗ご飯
栗飯やモーロクすれどおかわりを

モーロクし哲学不要薩摩芋
モーロクしひっそり暮らし残る蠅

モーロクしこの世短く初紅葉



たべもの俳句

さやつきで素揚げ枝豆ホクホクに
枝豆の豆豆の豆ご飯

苦瓜の味を確かめ生きている
ゴーヤーを加えメリハリ豚キムチ
ゴーヤーでつくる塩味ホイコーロー
ゴーヤーにみそをからめてつくだ煮に

骨までもイワシの梅煮三十分
イワシ梅煮酸味軽やか和のおかず
無限かなイワシ梅煮で食進む
甘辛くイワシ蒲焼きご飯かな

もろこしをバター醤油で香ばしく
秋暑し目玉焼きには黄身がない



秋鰯を甘辛味の生姜焼き

葡萄狩り幸広がりし幾粒を
皮ごとに食べる葡萄の至福かな

今日無欲くるくるむきて梨を食う
待宵や肉五等級ハンバーグ

秋なすの豚みそ炒めワンパンで
秋なすのぬか漬け朝餉卵かけ

レンチンでカボチャの煮物ひとり者
だしいらすカボチャの煮物黄金比

作り置きかぼちや照り焼き香ばしく
酢を使いかぼちやサラダに黒胡椒
ニンニクでカボチャきんぴらピリリ味
だし決めてかぼちやばつちりお味噌汁



たっぷりのかぼちゃ味噌汁風味よく

鰯雲ちよつと小江戸へ鰻重を

たっぷりのきのこ肉じゃが夕ご飯
秋バテに豚キムチ丼食欲を

さつまいもたっぷりみそ汁ほくほくに
さつまいも甘辛味付けきんぴらに

さつまいも茹でてサラダにマヨ醤油
さつまいもベーコン炊き込みほっこりと

太刀魚はやはり定番塩焼きに
「カルチヨリム」タチウオ煮付けキムチ味
太刀魚のムニエルレモンバターソース

干し芋も進化ねっとりオレンジに





